

第1回第2期笠間市教育振興基本計画策定委員会における委員からのご意見について

項 目		意見・指摘事項・課題等	記載 ページ	対 応 方 法
1	施策 保幼小の連携について	・コロナ化で園同士、また幼保と小学校の連携がとれていない。	17	・今回の計画の中では、コロナ化に限ったものとしてではなく、「今後の方向性」の中で幼保・小学校の連携推進を図ることを記載しました。
2	施策 アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて	・県では「アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム」の表現より「保幼小接続カリキュラム」という表現を使っている。	18	・小学校教育に向かう幼児期の全体的な計画を「アプローチカリキュラム」、幼児期との円滑な接続を意識した小学校入学時の教育課程を「スタートカリキュラム」、それらを合わせ幼児期と児童期の「学び」をつなぐことを「接続カリキュラム」として使用しています。市では保育者が作成する「アプローチカリキュラム」、小学校教員が作成する「スタートカリキュラム」として分けて使用しているため、そのままの記載となっています。
3	施策 こども育成支援センターについて	・「施策の方針2 学校教育の充実」ではなく「施策の方針1 幼児教育の推進」に記載したほうがよい。	18・28	・「施策の方針1」で「幼児期の相談支援」、「施策の方針2」で「ライフステージに応じた相談支援」としてどちらにも記載しました。
4	施策 子ども会の加入促進について	・子ども会の加入促進を目標としているが、加入率を上げるのではなくコミュニティとの連携や活動内容が大事かと思う。	35	・「施策の方針3」の中で子ども会活動支援について記載し、加入促進についての目標指標は削除しました。
5	施策 コミュニティスクールについて	・岩間地区はモデル校として取り組んでいるが、地域住民が学校に関わり過ぎてしまうと先生の負担も増えてしまう心配がある。	34・35	・「施策の方針3」の中で、国では「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みとして、コミュニティスクールを推進しており、本市においてもその取り組みを進めています。先生の負担については、「施策の方針2」の中で、教職員の働き方改革として業務改善に取り組むことを記載しました。
6	施策 WiFi環境について	・家庭のWiFi環境が整っていないため、タブレット端末を使用して家庭学習ができない子もいる。 ・公共施設等、WiFiが接続可能な場所を利用するなど、工夫して学ぶことが大事である。	39・60	・「施策の方針4・6」の中で、公民館や図書館の有効活用、多様化するニーズへの対応等記載しました。
7	施策 タブレットの使用方法について	・子どもたちがタブレット端末等を夜遅くまで使用している。	44	・「施策の方針4」の中で「インターネット利用に関するマナー教育や家庭のルールづくりの推進」を記載しました。

8	施策	文化財公開について	・市内には国・県・市指定文化財が多数あるため、2年に1回ではなく毎年実施してほしい。	46	・回数については担当課での調整が必要ですが、「施策の方針4」の中で、市の貴重な文化財について公開を行うことの重要性について記載しました。
9	施策	スケートパークの活用について	・学校との連携を通して、アクションスポーツの認知に繋げ、スケートパークの活用ができるとうい。	53	・「施策の方針5」の中で、スポーツツーリズムの推進、スポーツを通じた持続的なまちづくり・地域活性化に取り組むこと等を記載しました。
10	施策	地域スポーツコミッションについて	・地域スポーツの立場で何ができるか。観てするスポーツとして学校と連携して自分たちを活用してもらい市に貢献したい。		
11	全体	横文字・教育用語の表現方法について	・横文字が多く意味が分かりにくいので、補足説明、注釈等があったほうがよいのではないか。 ・知らない言葉を自分で調べることは教育のうえで大事であるため、新しい言葉・横文字もそのまま表現し、それを自分で調べてもらうほうがよいと思う。		・容易に調べられない方もいるため、誰にでも分かりやすく、すぐ受け入れられるよう補足説明(注釈)を記載した。
12	全体	指標について	・指標を何でみるかが重要である。 (数値で表せない目標値の設定については検討が必要)		・すべて数値化できるものにしました。
13	全体	笠間市の教育資源について	・笠間市の教育資源(ムラサキスポーツ, アストロプラネッツ, 文化財等)をどのように活用し、また子どもたちにそれらをどのようにPRしていくのでしょうか。		・「施策の方針5・6」の中でそれぞれの「今後の方向性」や「具体的な事業」を記載しました。
14	全体	キャッチコピーについて	・キーワード, キャッチコピーがあるとよいのではないか。(例「レジリエントな人づくり, まちづくり」柔らかい回復力, 災害にも強い)		・
15	アンケート	配布方法のオンライン化について	・保護者には紙のアンケートを配布してほしい。 ・オンラインに対応できる保護者は多い。 ・オンラインに対応できない方に対するフォローも必要である。		・児童生徒へタブレット端末を配布し、デジタル化を推進しているため、基本的にオンラインでの実施を行いました。対応できない方へは紙での実施も可能である旨通知しました。

16	アンケート	性別	・性別を問う必要性はあるのか。（人権対策，社会の流れ）	・他市町村で実施したアンケートでは「男」「女」の項目以外に、「その他」・「無回答」・「答えたくない」が含まれているものもありました。 ・社会的に性的少数派への配慮が必要とされており、男女別の回答が今回作成する計画に影響はないと思われるため、性別は問わず実施しました。
17	アンケート	保護者への依頼文	・「…笠間市の教育の推進に」→「…笠間市の教育振興の推進に」変えたらどうか。	・そのように対応しました。
18	アンケート	<児童・生徒> 4.将来のことについて	「問12あなたはどのような人になりたいですか」 ・大人になっても笠間市で生活し、社会貢献してもらえ る人間になって欲しいという願いを込めて、回答項目に 「笠間市で活躍できる人，または笠間市に貢献できる 人」を追加してはどうか。	・「笠間市で活躍する人」を追加しました。
19	アンケート	<保護者> 3.学校教育や学校とのかかわり について	「問9-6. 休日や放課後に子ども向けの体験活動や イベントを開催する」 「問10-8. 子どもに対して厳しくしつけができるこ と」 ・この回答項目については、保護者は学校で何かやっ てくれることを期待してしまうが、それにより先生の負 担が増えるため、「教員の働き方改革」と整合性がとれ ないのではないか。 ・「しつけ」について、生活全般に関してか学習に対 してかとらえ方が分かれ、それによっても先生の負担が 増えるのではないか。	・保護者側の意見を集約するためのアンケートであり、これらの 回答が多くなったとしても、それを学校で実施してもらうもの ではなく、前回の調査との比較をするためにも、前回同様の回答項 目として記載しました。
20	アンケート	<保護者・教職員> 4.家庭・地域での教育について	保護者（問17），教職員（問12）共通質問 ・回答「5.地域活動や行事などを活発にする」の最初に 「子ども会をとおして」を入れたほうがよい。	・子ども会に限定したものではないため前回同様の回答項目とし て追加しませんでした。